



宮崎県

みまた

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

こんにちは議会です。



Topics

塚原団地A棟、弓道場年度内完成へ(12月定例会)
職員給与を最大で0.5%引き下げ(11月臨時会)
一般質問(10人の議員が質問)
初めての議会傍聴(長田小6年生)
常任委員会研修報告

シリーズ 緊急出動 消防団 vol.3「第3部、第4部」

表紙写真: きまってるねななとこさん(御年神社)

No. **66**

平成24年2月1日号

工事請負契約を一部変更、全会一致で可決 塚原団地A棟、弓道場、年度内完成へ



議事進行をする山中議長



提案理由を説明する木佐貫町長



町議会は、12月議会を12月8日(木)から12月21日(水)までの14日間で開催。今回の議会に上程された議案は15議案、諮問1件、意見書案2件、報告1件、追加議案1件で、各常任委員会にそれぞれの議案を付託し審議。議案の主なもの、条例の一部改正が3議案、補正予算が特別会計を含め5議案、塚原団地A棟及び弓道場の工事請負契約の変更が3件、人事案件が1件で全ての議案を全会一致で可決。

一般会計補正予算

5824万円を減額し

予算総額92億7806万円に

歳入の主なもの

- 分担金及び負担金** 1069万円
入園児の増加により常設保育所保育料を増額
- 国庫負担金** 特別措置法に基づき中学生子ども手当が13000円から1万円となったことに伴い減額 △2782万円
- 町債** 島津紅茶園切寄線道路整備事業の国庫補助が減額になったため町の借金を減額 △1080万円

歳出の主なもの

- 民生費** 重度心身障害者医療費実績見込みにより増額 1400万円
- 保育所運営費負担金** 6565万円
- 土木費** 島津紅茶園切寄線道路改良工事 △2844万円
- 農林水産業費** 口蹄疫緊急対策事業補助金 受精解禁となり2月に集中して生まれてくる子牛に対し補助を行うもの 350万円

人権擁護委員に黒木兼一郎氏を再任

現在本町の人権擁護委員として要職にある、黒木兼一郎氏の任期が、3月31日付で満了となるため、引き続き人権擁護委員の適任者として推薦するものです。全会一致で適任としました。

人権擁護委員は、市町村長が推薦し、法務大臣が委嘱します。任期は3年です。法務局などの専門機関と連携をとり、人権が侵害された人の救済を図ることを使命としています。人権に関して、悩んでいることがありますから、お気軽に近くの人権擁護委員へご相談ください。無料・秘密厳守でご相談に応じます。



美味しいお餅が出来たよ (ひかり保育園餅つき大会)

意見書を可決し国へ送付

- 一、消費税増税に反対を求める意見書(案)
- 二、原子力発電から撤退し、自然エネルギーへの転換を求める意見書(案)

2件の意見書案を審議し、全会一致で可決しました。この意見書を、国へ送付します。

体育指導委員の名称を変更

本議案は、スポーツ基本法が2011年6月に交付、8月に施行されたことに伴い特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正するもので、体育指導委員の名称をスポーツ推進委員に変更するもので、全会一致で可決しました。

防災行政無線移動系システムを買替え

消防車輛や公用車等に設置された無線機のシステムが3年以上経過し、機械の老朽化や電波が入りにくい地域があることなどから、新にデジタルMCAシステムを購入設置しようとするものです。指名競争入札の結果、株式会社九電工都城営業所が3139万円で落札。

議会の議決を求めるもので、全会一致で可決しました。



塚原団地、弓道場の工事請負契約を変更

三股小学校北側に、現在建設中の鉄筋コンクリート3階建て塚原団地と三股中学校西側に建設中の弓道場の建築主



三股小北側の塚原団地 A 棟
2月完成予定

体工事及び機械設備工事において設計に一部変更が生じたため契約の変更をするもので、全会一致で可決しました。



中学校西側に建設中の弓道場
3月完成予定

11月臨時議会

職員給与を最大で0.5%引き下げ

11月29日

一般職の職員の給与については、人事院及び宮崎県人事委員会の給与勧告の趣旨や現下の厳しい経済状況を考慮し、給与等の支給額を減額するため、「一般職の職員の給与に関する条例」について一部を改正するものです。若年

層の給与は、据え置くものの、年代層ごとに段階的に引き下げ、最大でマイナス0.5パーセントの給与表の改定を行うので、全体で101万9千円あまりの影響額となっています。審議の結果全会一致で可決しました。



池邊 美紀 議員

「災害時の行政組織対応と 三股町の教育を問う」

町長 協議を重ね諸問題を協同で進める

う教育を進めていく。

長田峡の整備を問う

問 観光地長田峡の整備を問う。

問 緊急大規模災害における行政マニュアルがあるか。また、参集訓練など行政組織訓練を問う。

町長 現在行っている地域防災計画の見直し完了後にマニュアルを順次整備していく。また、町独自の総合訓練を実施していきたい。

本町の教育を問う

町長 今後、策定するように順次進めているところです。

問 学力向上のために三股町小学校の統一テスト実施はできないか。

教育長 現在、他のテストはあるが、必要なことだと思うので検討する。

問 他の自治体では抜き打ちの参集訓練もあるがどう思うか。

町長 訓練を検討していきます。

問 総務省発表で避難支援計画未策定が8割。本町の状況を問う。

町長 訓練を検討していきます。

問 文教のまちの取り組みを問う。

教育長 本町には実践的な道徳教育の伝統があり「みまたの日」に、文教の町を振り返っている。また、学力においても小中一貫の取り組みを行っている。

問 自然体験学習はふるさとを愛する学習につながるため、教育アシスト事業などを活用し自然体験学習を進めるべきではないか？

教育長 三股町の自然の素晴らしさを伝えられるような、ふるさと教育を推進して行く。

町長 三股町で育って良かったと思

指定管理者制度の推進は

問 指定管理者制度を推進すべきではないか。

町長 費用対効果を勘案し、前に進めていく。

「TPP交渉参加で本町の農業をどう考えるか」

町長 全国町村会も反対の活動を
実施している

実施している



内村 立吉 議員

問 貿易やサービスの自由化を図るTPP交渉に参加する方針が表明された。県内では地域経済、

急決議をとりまとめ要請活動を実施している。

年度までの継続事業となるよう国に要求中だ。

町長 早期出荷を推進し肥育農家に購買力向上促進を図る為、早期出荷される子牛と購入肥育農家への助成を予算化している。

要望 今後何年かこの状態が続くと思う。対象牛日齢276日以内を300日にしてもらいたい。

税金滞納者の対策をせよ

国民生活への影響を危惧し、農林水産業、商業、医療などほとんどの産業分野から批判の声があがった。10年以内の関税撤廃を目指す、最も影響が懸念されるのが基幹産業の第一次産業である。本町の農業を考えた時、この問題をどのように考えるか。

町長 T P P 交渉参加については県やJ A も反対の行動を起こしていい。全国町村会もT P P に関する緊



上 西 祐 子 議員

環境保全対策事業の継続を

問 平成19年度から農村の資源をみんなで守ろうということ

農地、水、環境保全対策事業が国、県、町の基に始まったが、この事業が5年間ということ今年度で終わる。今後も継続事業になるか伺う。

町長 これは農地水保全管理支払交付金事業として名称を変え、平成28

和牛、子牛、価格下落時の対策を問う

問 口蹄疫により人工受精の禁止期間が設けられた。解除後の一斉受精による出荷子牛の頭数が増えることが予想され、販売価格が下落する可能性が指摘されている。この和牛生産農家に対する支援策を伺う。

町長 次導入可能な自然エネルギーへの取り組みは必要と考えており、太陽光・小水力・バイオマス・風力発電等の導入経費や補助制度を十分調査し、事業選択を行ないたい。

問 税金の滞納者について内容を伺いたい。

税務課長 生活苦で払えなかったり、税金は後回しにする人がいるため、滞納者が減らない。

要望 日置市では特別滞納整理課ができて一年になる。成果があがっているので取り入れては。

「ごみの減量化を問う」

町長 生ごみ処理機補助制度や剪定等の堆肥化に取り組んでいる

問 ごみ問題は、いかにごみを出さない様にするかである。ごみの分別を徹底させ、生ごみや廃油なども回収し資源化する必要があると思うが。

町長 生ごみの減量化対策として本年度から生ごみ処理機購入補助制度・EM活性液の無料配布で自宅での堆肥化推進・剪定くず、除草の回収で堆肥化に取り組んだ。

生ごみや廃油の資源化は町民の理解、協力が不可欠であり、資源化施設の建設には多額の財源が必要なの

でどうするか調査研究する。

問 町民にごみ減量、エネルギーのあり方などを学習してもらい、協同作業を進めてはどうか伺う。

町長 現在策定中の環境基本計画と環境基本条例を様々な機会に周知して広報、啓発に力を入れたい。

現在実施中のリサイクル作業、EMほかし、だんご作り・剪定くずの堆肥化・小学生による水生生物調査などのPRを行ない、環境学習の視察の提供、現状報告なども積極的に実施し住民の協力をお願いしたい。

大型店の出店による影響と対策を聞く

問 来年度、薄利多売・24時間営業の大型スーパーが出店する予定と聞くが、本町の個人の店は多大な影響を受けるのではないか。

町長 出店予定地は、都城市とのアクセス条件も良く多くの客があると思う。本町も都城市も来客数、販売額などに影響が出ると推測される。本町としては、商工業の振興、貸付金等の融資制度の活用・商工会の無料経営相談窓口・専門家派遣事業の活用推進や、中小零細企業を対象としたプレミアム商品券を販売して地域活性化を図っていききたい。





堀内 義郎 議員

「三股小児童数の減少原因は」

町長 少ない地区の意見を伺っていく

問 三股小の児童数が、年々減少している。以前、対策を協議したにもかかわらず減少しているが、原因と対策を問う。更に児童数の少ない地区の減少対策について伺う。

町長 児童数の減少については、少子化の影響で、本町もピーク時の約25%減となっている。三股小学校区内に現在、塚原住宅を建替え中であり、児童数増が期待できると思われる。今後は、町営住宅の統合により跡地の利用についても活用方法を検討していきたい。

問 谷・中米・樺田地区は児童数が少なく減少しているが、対策は考えているか伺う。

町長 今の所、特別な対策は考えていないが、町全体として子育て支援事業として、「子育てにやさしいまちづくり」を目指し、特に減少の著しい地区の意見等を伺いながら対策を協議していきたい。

自立圏構想の効果は

問 協定の締結による発展効果と、再生エネルギーに関する

開発、普及や企業の誘致に取組む考えはないか等問う

町長 地方圏において安心して暮らせる地域を形成し、人口の流失を食い止め、地方圏への人の流れを創出しようとするもので、事業に地域医療の充実、都城志布志道路の開通とアクセス道路整備、民間・行政・地域活動人材の育成、活動支援がある。関係市町が今後、集約とネットワークし互いに連携協力し、活性化を図る。更に再生エネルギーについては、国の新たな政策の動向を見極めながら、方針、方向性を見つけていきたい。



子育てにやさしいまちづくり (ひかり保育園)

「上水道水源の確保・保全のために水保全条例の制定を」

町長 条例制定の検討等で対策を

検討したい



指宿 秋廣 議員

問 町民全ての方に提供している上水道は、地下水に頼っている。現在砂利採取している場所は、

る大規模な山林買収もあったので、上水道の水源確保や環境保全に重点をおいた条例策定の検討や関係機関

町長 最終処分場か都城市のリサイクルプラザへの直接持ち込みをお願いしているが、不燃性粗大ごみの

ためのモーターなどハイテク製品には欠かせない技術となっている。携帯電話やリモコンなどを回収することはできないか。

町長 経済産業省の小型家電回収モデル事業が、平成23年度に全国8自治体で実施されている。資源ごみ回収所での回収ボックスによる回収が出来ないか、収集所を管轄する自治公民館と協議しながら検討したい。

上水道の井戸に影響がある場所でないが、影響のある場所が砂利採取の地点になっていると大変なことになるので、地域を指定して砂利採取の禁止ができる条例制定はできないか。



福永 廣文 議員

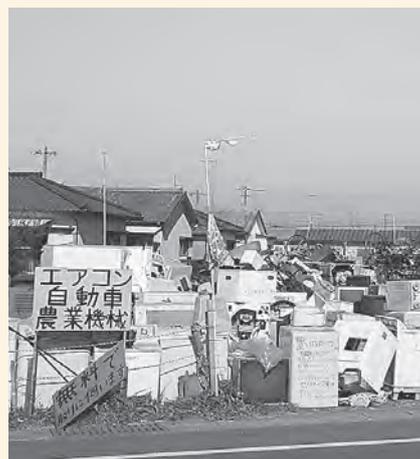
との情報交換等を行い対応策を検討したい。

レアアース・レアメタル回収のための小型家電のリサイクルを

問 リサイクル法に定められた、家電4品目以外の小型家電の収集を実施することはできないか。

中の小型家電については、資源ごみ回収所での収集ができないか検討をしたい。

問 レアアースは、他の金属に微量だけまぜると、各金属の性質を飛躍的に向上させる特徴がある。強力な永久磁石や青色の蛍光灯など、レアアースで実現可能になったものは、数限りないといわれている。携帯電話のマナーモード振動の



「町のシンボルカラーは」

町長 町のシンボルカラー制定については、町民や有識者の意見などをもとに慎重に判断

夕用の専用回線を整備する必要があり、設備費、運用コスト、配置する職員体制など総合的に考慮すると現在の体制では、大変難しい。

ふるさと大使の任命について。

問 町のシンボルカラーは現在決まられていない。シンボルカラーを選定することで、スポーツ大会などのイベントでも、町の存在を強くアピールできると思うが、選定する考えはないか。

町長 シンボルカラーは、企業や団体の理念やイメージにそって制定したり、イベントや運動などの趣旨やテーマにそって制定される場合が多い。行政の業務は、多岐にわたるため、テーマにそったシンボルカラーをの制定や町の風景やイメージにそ

ったシンボルカラーの制定は難しいと思われるので、町民や有識者の意見などをもとに慎重に判断すべきである。

問 町旗のエンジ色の選定については、根拠があったのか。

町長 町章は、町の木「イチヨウ」をモチーフにしたもので、町旗については、この町章の黄色が映える色として、バックの色はエンジ色が選定されたのではないかと推測されるが、定かではない。

要望 ぜひとも、町のシンボルカラーを選定していただきたい。

6地区方面へ、役場の出張所の設置はできないか。

問 高齢化が進み、6地区方面の方々が、役場へ証明書等を取りに来ることに不便を感じている。六地区公民館に移動事務所は設置できないか。

町長 6地区分館で証明書発行事務を行うためには、役場とコンピュー

問 町外において各方面で活躍している、町出身者を町のよさを広くアピールする「ふるさと大使」として数多く発掘してほしい。

町長 「ふるさと大使」の発掘については様々な機会において情報の収集に努めたいと考えているが、議員におかれましては、その様な方がおられたら紹介してほしい。



桑畑浩三 議員

「公共下水道事業の見直しを」

町長 次年度全体計画を見直す

問 公共下水道は金がかかり過ぎるのではないかと。これは都会むきの工事であり、田舎にそぐわないと思う。町はこの工事を今年度で一旦打ち切り、多方面から再検討して、見直すべきだと思いがどうか。

町長 この事業については、平成9年度から着手し、現在七地区全域、一部地域を除く稗田地区、東植木の一部、東原の一部が接続可能区域となっている。その接続率は今年の11月現在38・7%と、下水道事業を実施している県内17市町村の平均86%

と比較してもかなり低い状況にある。このような現状の早期解消のためにも、今後様々な方法で接続推進を図っていく。また衛生センターの尿処理施設についても更新の時期が迫っている。国では、し尿処理施設や農業集落排水施設を公共下水道事業に取込むことができるミックス事業が可能となっている。このことは現在の衛生センターでは、し尿と汚泥の前処理と希釈だけを行い、中央下水処理場へ接続することや公共下水道の管渠が早馬神社辺りまで来

ると、三股橋を利用して梶山農業集落排水事業との接続が可能となつて、中央処理場での下水処理が一本化され、し尿処理施設の延命化や維持管理費のコスト削減につながるこゝとなる。しかし、この事業を行うには生活排水処理人口の二分の一を下水処理する条件が付されているので、今後どのエリアまで下水工事業を継続するか、どのような組み合わせ、選択が本町にとって最善の生活排水対策となるか検討する必要がある。議員の意見を踏まえ、次年度、

公共下水道事業の全体計画を見直すことにする。



下水道の工事現場

「塚原住宅B棟は継続着工出来るのか」

町長 来年度に向け社会資本整備、総合交付金事業で諸手続きを進めている

問 本町は、自主自立を選択し、抜本的な改革の見直しを断行して9年目を迎えたが、本年は、

五本松住宅建替えは何年頃になるのか

単独補助事業外部評価の見直し基準は

び負担金審議会でも再度検討を行い、来年度以降の予算編成に活用していく。



大久保義直 議員



五本松住宅

東日本大震災・津波更に口蹄疫の発生により予算編成に影響はないか、来年度予定の塚原住宅B棟の建設は予定通り着工は出来るのか。

町長 財政は、景気低迷の中で大変厳しい状況であるが、行財政改革や長期的視点により、年次的に大規模な事業は進める。塚原住宅B棟建設も来年度に向け社会資本整備総合交付金事業で諸手続きを進めている。

問 五本松住宅（134戸）は老朽化し、空屋も増えて維持管理費も掛かる。この建替え話は以前からあり塚原住宅完成後五本松住宅の建替えに移る。このマスタープラン計画はあるか教えて欲しい。

町長 五本松住宅建設については、公営住宅等長寿命化計画等により、平成25年度から手法判断を行い建替えを前向きに計画検討していきたい。

問 単独補助事業外部評価（仕分）について、評価委員は30事業の公益性、効果性等の評価し、結果として見直し14件、不要2件の結果であった。今後どのような基準で見直しの検討をしていくのか伺う。

町長 見直し14件、不要2件の結果を出した。初めての試みで評価結果だけでなく、評価委員の議論の内容も踏まえた上で、各事業の担当課及



塚原団地の建設現場

「町内業者の入札状況は」

町長 地元業者優先での発注を基本としている

問 町内業者の利用を優先的に発注すべきでは



佐澤 靖彦 議員

町長 官公庁の物品の発注については地方自治法、地方自治法施行令、三股町財務規則により規定されているところである。地方自治法第二三四条では、締結は、一般競争入札、指名競争入札、随意契約、せり売りの4つの方法で最低の価格で契約とすることになっている。

地方自治法施行令一六七条の二では随意契約は九項目の規定があり、これに基づいて三股町財務規則

では、備品を除く物品については、80万円以下を随意契約となっており購入にあたっては、物品調達基金で発注しなければならない。物品調達基金で発注が適当でない特殊物品については、各課で発注できることと規定されている。

問 町外業者の落札で税収減をどう考えるか

町長 本町としては、地元企業の育成という観点から自治法や財務規則等の範囲内で地元業者優先での発注を基本としているところである。

できる限り町内業者の落札が望ましいもので税収の増の面からも好ましい。今後も法令等の規制の範囲内で町内業者への発注に努めていきたい。

問 「アスリートタウンみまた」を宣言しているが十分な施設整備が行われていない。総合体育施設の充実化を進めるべきではないか

町長 本町の体育施設は、武道体育館、町体育館、勤労者センター、野球場、陸上競技場、ソフトボール場、テニスコートがある。本町の施設は、分散型の形態ではあるが利用者には利便が図られているところである。総合体育施設の持つ機能や各種競技大会を誘致できる優位性については、十分理解するところだが、町の将来的な財政運営を考えると、総合体育施設は困難であると思っている。

現在の屋内体育施設の中には、建設後30年以上経過しているものがあり、老朽化に伴う建替えの考え方として、総合体育館の建設という方向性は成り立つのではないかと思っている。



池田 克子 議員

「防災会議に女性委員の登用を」

町長 新たな計画の中で登用を考える

問 全国の各自治体に「女性の視点からの防災行政総点検」のアンケート調査を実施した結果、女性の視点を欠いた実態であった。防災会議に女性委員を登用し、地域防災計画に意見を反映させては。

町長 新たな防災計画を策定する段階で女性委員の登用を考えたい。

避難所運営ゲーム・ハグの導入を

問 避難所運営ゲームHUG（ハグ）による体験型訓練が意識や技術の向上につながる。災害状況を具体的にイメージし模擬体験することから、有効な訓練法として認識されている。導入できないか。

町長 避難所運営マニュアルの策定後に取り組んでいく。

緊急速報にはエリアメールを利用しては

問 緊急速報の手段に、今NTTドコモの「エリアメール」が手軽に利用されている。自治体が申請すれば各自の携帯番号にいち早く自動で配信される。この「エリアメール」を活用できないか。

町長 防災行政無線の整備にあわせて、防災情報システムの構築について総合的に検討する。

傾聴ボランティア員の養成を

問 昨年の国勢調査によると65歳以上の男性の10人に1人、女性の5人に1人が一人暮らしであるという。地域社会とのつながりが希薄になるなか単身世帯の6割が孤独死を身近に感じ不安を覚えている。「うつ病」や「ひきこもり」になりがちな状況を早期発見し、心のケアの対応をきく。

町長 各関係機関と連携強化を図っている。新年度には介護認定を受け

ていない高齢者に対して、体の健康チェック・心の健康チェックを実施する。

問 高齢者の孤独死や自殺等を未然に防止するための「傾聴ボランティア員養成講座」を受講した方々が全国各地で活動している。これは「心のケア」を行なう技術を磨けるとのことで多くの自治体を実施している。当町でも実施しては。

町長 傾聴ボランティアの養成に努めたい。



「はまゆう」施設にて

全国議会広報研修に学ぶ

第75回町村議会広報研修会に三股町議会広報委員会から、池田克子、堀内義郎、桑畑浩三、池邊美紀、4名の議員が出席。2日間におよぶ歴史ある研修会には、全国の町村から約400人が東京に集結し、共に議会広報紙における技術習得を行った。

また広報クリニックには三股町議会広報紙も参加。これは発行された広報紙をもとに注意点を優れたところを指摘されるものであるが、全体的に良い感じではあるものの改善点はまだある事々学んだ。今後、行政と議会の広報紙の差別化や、読んでもらうための工夫、読みやすさなどに留意し三股町議会広報紙のレベルアップをはかっていきたい。



75回 町村議会広報研修会

初めての議会傍聴にドキドキ

長田小
6年生



長田小6年生



宮崎 誠さん

自分たちの市、町、村にある建物をつくるかつくらないかなどを議会と言う場所で決めています。この日、僕たちは議会を見学し役場に行きました。そこで、議員さんたちと町長さんたちが話し合っているところを見ました。初めての場所でした。見た後はそこで働いている方に質問をしました。質問をしていく間に議会は必要なんだなと思いました。これからも議会について、くわしく調べていき、議会のことをもっと知っていきたいと思います。



荒武 優花さん

町議会の様子を見に三股町役場に行きました。私は、町議会の様子を見たり、町の議場を見たりするのが初めてだったのでとても楽しみにしていました。町の議場を見た時、思っていたよりも広く机やイスが2つずつ置いてあってそれがたくさんありました。町議会の様子を見ていて、おどろいたところがありました。それは、議員の方が疑問に思ったことを役場の方に質問する回数が多かったことです。わたしは、こんなに疑問が持てるのはすごいなと思いました。わたしも、授業中たくさん疑問を持って質問をしたいと思いました。



黒木 美奈さん

社会科見学で役場の議会を見に行きました。話し合っていると見せて下さいました。議会には町長さんや副町長さん、ほかにもいろいろな課長さんなど、たくさんの人たちが話し合っていました。話し合いの内容は三股町のことを話していました。少し難しい内容でした。でもあそこで話し合っ図書館ができたり、体育館ができていたりしているのでとても大切な話だなと思いました。



時任 絵里奈さん

議会が始まるとすぐ議員さんがしゃべり始めました。わたしは、「何を言っているんだろう」と思って一生懸命聞きました。一生懸命聞いたけど、話が難しくよく分かりませんでした。議員さんはたくさん質問をしていました。議場を出て会議室で質問をしました。パソコンを使っている人がいたので何をしている人かと思ったら、話の内容を記録しているということでした。何時間もかけて話し合いをしているそうなのですごいなと思いました。役場のみなさん、議員さんたち、議会を見せていただいてありがとうございました。



轟木 遥菜さん

議会には発言時間を計るデジタル時計や発言内容を記録するパソコンなどすごい仕組みがいろいろありました。話し合っている内容はとても難しかったけど、議員さんが質問したら町長さんが答え、また質問したらまた答えると言う形で話し合いはずっと続いていました。私は質問するのが少し苦手なのですごいなと思いました。三股町の税金がたくさん使われていることもわかりました。こうして、三股町の多くのことが議会で決まるとなりました。議会の内容は難しかったけど、決めることがいっぱいあって大変だなと思いました。



岩切 千菜美さん

社会科見学で、町議会を見学に行きました。私は、初めて町議会を見に行ったのでとてもドキドキしました。町議会では、私たちの暮らしのために、税金のことや道路のこと、水道のことを話していました。議会を見てから、役場の人からいろいろなことを教えてくださいました。私はお給料が思っていたより少なかったことにびっくりしました。議会の内容はむずかしかったけれど、議員さんたちが、私たちの住む町のことについて一生懸命話しているのがよくわかりました。

11月1・2日鹿兒島県内と熊本市で研修を実施しました。日置市では伊集院総合運動公園を、川内市では川内原子力発電所を視察しました。また、熊本市ではフードパル熊本を視察しました。伊集院総合運動公園は日本陸連3種公認の全天候タータントラック等を備えた総合運動施設です。アスリートタウンみまたとしても大変魅力ある施設でした。

建設文教常任委員会研修

高齢者の見守り事業においては配食サービス、新聞配達など民間事業者の協力によって孤独死等を未然に防止していることに感心しました。

視察しました。高年齢者の見守り事業においては配食サービス、新聞配達など民間事業者の協力によって孤独死等を未然に防止していることに感心しました。

総務厚生常任委員会研修

11月14・15日石川県の2市で研修を実施しました。

輪島市では高年齢者見守り事業と防災組織及び防災士の育成について視察。また、珠洲市では空き家を利用した移住定住施策や新エネルギー事業バイオマスメタン醗酵施設を視察しました。

「第三部」

部長：黒木 明郁
団員：15名
大鷲巣、小鷲巣、寺柱、
高畑集落を管轄



部長：山内 和広
団員：17名
梶山、田上集落を管轄

「第四部」



編集後記

年が明けて周りを見渡すと、昨年の既成概念が覆るような出来事から、どうにかして明るい未来に行きたいという思いが見える。震災を経験し、みんなで助け合う姿や、絆の重さに日本人の素晴らしさが見えたことは明るい希望にも繋がる。今年度は、議会基本条例施行年度であり、議会も4月に新人4人を迎え、毎月の議会全員協議会など大きく改革が進んでいる。その表れが12月議会の一般質問10名となった。より良い生活の実現のために、自分自身がどう行動するか、その小さな行動が、龍のように昇りだし、大きな成果を生むことになる。

池邊美紀

議会広報編集常任委員会

- 委員長 池田 克子
- 副委員長 堀内 義郎
- 委員 桑畑 浩三
- 委員 池邊 美紀

